

遮熱・断熱

ラジカル制御型多彩模様塗料

# Pastel Flavor

パステルフレーバー

## 施工要領書

第3版 作成日：2023年 4月 1日



菊水化学工業株式会社

# 製品概要

## はじめに

パステルフレーバーはローラー施工・吹付施工が可能な多彩模様塗料です。  
ローラー施工が可能なため、塗料の飛散や騒音を防止でき、施工中の住環境への負荷が少ない材料です。  
また、多彩模様塗料という意匠性だけでなく、遮熱性・断熱性を有しているため機能性にも優れています。  
本要領書は、パステルフレーバーの各施工方法、工程に関する重要事項をご説明しております。  
必ず、施工前にご確認頂き、お役立てください。

## 製品特長

### 高意匠性

上塗りのクリヤーに様々な大きさや色のカラーチップを配合しており、  
中塗りとの組み合わせによって、

### 高耐候性

上塗りは高耐候性アクリルシリコン樹脂にHALS（光安定剤）、UVA（紫外線吸収剤）を配合。

### 遮熱性能

中塗りに近赤外線領域波長の反射率が高く、高耐候性のチタン系黒色遮熱顔料を使用する事で、優れた遮熱性能と

### 断熱性能

中塗りに硬い殻を持つ特殊中空粒子を使用しています。  
この中空粒子の中の空気層により、

### 省工程

中塗りをを用いる事で窯業サイディング等の改修下地において、シーラーレスの施工が可能です。

### 施工性

ローラー施工、吹付施工が可能です。  
ローラー施工により、塗料の飛散、

### 完全水系仕様

環境に配慮した完全水系仕様です。

### 防藻・防カビ性

藻やカビの発生を塗膜で抑制します。

### 低汚染性

シリコン樹脂クリヤーの優れた性能により、

### 微弾性

微弾性を有しているため、  
下地のヘアークラックへも追従します。

# 施工仕様書

## 1. 工程表

### 《ローラー塗装仕様》

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面としてください。				
(改装の場合)	浮き塗膜の除去、旧塗膜のチョーキング層、ゴミ、塵埃、油脂分などの付着物を高圧洗浄等で完全に除去して下さい。高圧洗浄後、下地はよく乾燥させてください。				
(下塗り)	新築下地や下地の種類・状態によって、下塗りが必要な場合があります。詳しくは2. 下地調整の項目を参考ください。				
中塗り	パステルフレーバー 中塗 主 材 : 15kg 清 水 : 0~0.3L	ウールローラー (中毛・長毛) はけ など	1*	3以上	68~83m <sup>2</sup> /15kg 0.18~0.22kg/m <sup>2</sup>
上塗り	パステルフレーバー 上塗 主 材 : 15kg 清 水 : 0.45~1.0L	推奨ローラー (桃虎・チャスキ) はけ など	1	最終養生 24以上	68~83m <sup>2</sup> /15kg 0.18~0.22kg/m <sup>2</sup>

### 《吹付け塗装仕様》

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面としてください。				
(改装の場合)	浮き塗膜の除去、旧塗膜のチョーキング層、ゴミ、塵埃、油脂分などの付着物を高圧洗浄等で完全に除去して下さい。高圧洗浄後、下地はよく乾燥させてください。				
(下塗り)	新築下地や下地の種類・状態によって、下塗りが必要な場合があります。詳しくは2. 下地調整の項目を参考ください。				
中塗り	パステルフレーバー 中塗 主 材 : 15kg 清 水 : 0.3~0.75L	万能ガン 口径 : 5.5mm 吹圧 : 0.4~0.5MPa	1*	3以上	33~43m <sup>2</sup> /15kg 0.36~0.44kg/m <sup>2</sup>
上塗り	パステルフレーバー 上塗 主 材 : 15kg 清 水 : 0.75~1.5L	万能ガン 口径 : 5.5mm 吹圧 : 0.35~0.45MPa	1	最終養生 24以上	40~53m <sup>2</sup> /15kg 0.28~0.38kg/m <sup>2</sup>

※下地が隠ぺいしない場合は2回塗りしてください。中塗りが透けた状態になっていると仕上がりにはムラを生じる事がありますので、下地が隠ぺいするまで十分に塗装してください。

注1 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により、多少色調と仕上りの幅を生じることがあります。

注2 ローラー塗装仕様と吹付け塗装仕様では意匠感・艶感が異なります。

見本板等でご確認ください。

## 2. 下地調整

### 《新築外壁面》

下地の種類	推奨下地処理
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート ・PC</li> <li>・セメントモルタル</li> <li>・スレート</li> </ul>	粗面下地は「BR#15」等を用いて下地調整を行ってから、「キクスイ プライマー スーパーE」、「キクスイ 浸透性プライマーE」「キクスイ プライマー スーパーWE」を下塗りとして塗装してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALC</li> </ul>	合成樹脂エマルション系下地調整材「キクスイ ファンデ」等で処理を行った後、「キクスイ プライマー スーパーE」を塗装してください。

### 《改修外壁面》

下地の種類	推奨下地処理
<ul style="list-style-type: none"> <li>・窯業系サイディングボード</li> <li>・各種旧塗膜</li> </ul>	旧塗膜の表層が劣化・脆弱化している場合、吸い込みの多い下地の場合には、別途「キクスイ 浸透性プライマーE」を下塗りとして塗装してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・難密着型 窯業サイディングボード (フッ素・無機系塗料・光触媒など)</li> <li>・金属サイディングボード</li> </ul>	フッ素樹脂や無機系、光触媒などの難密着コーティングが塗装してある窯業サイディングや金属サイディングの場合は弱溶剤系の2液エポキシ樹脂シーラー「キクスイSPパワーシーラー」、 「ユーティリティプライマー」を下塗りとして塗装してください。

## 2. 材料荷姿

中塗材： パステルフレーバー 中塗	NET： 15kg/缶
上塗材： パステルフレーバー 上塗 (艶有・艶消し)	NET： 15kg/缶

## 4. 施工要領

### 1. 施工前

- 施工方法や塗料ロットによって見本板との色相・模様には多少のばらつきを生じることがあります。本施工前に必ず現場にて試験施工を行い、ローラーやガンの運行、圧力、希釈量、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認してください。また、現場条件での見本板の作製を推奨致します。
- 中塗りと上塗りは組み合わせの色が決められています。事前に確認してください。

### 2. 施工

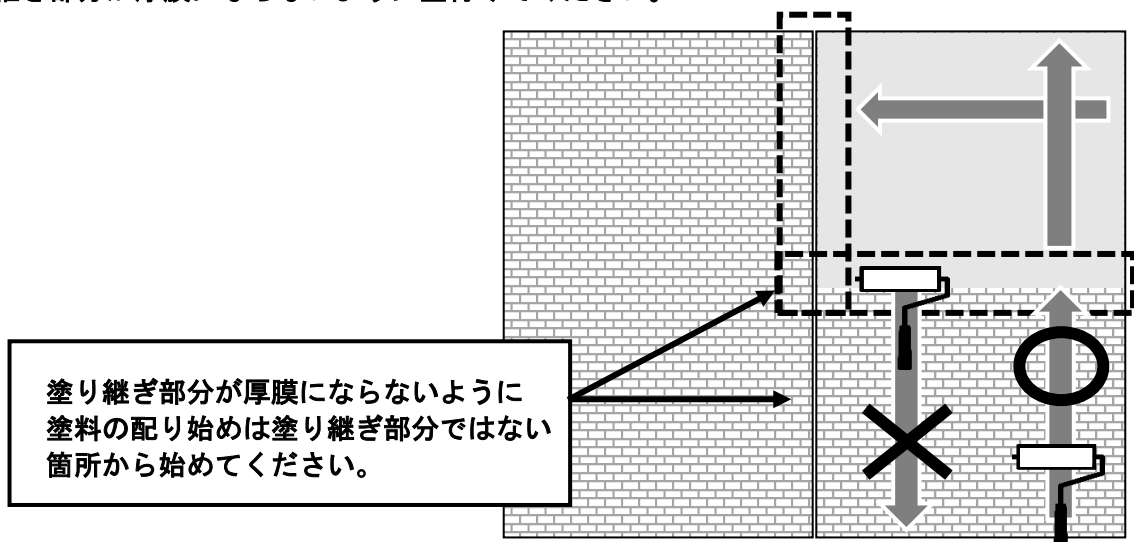
#### 2-1. 中塗り

- 中塗材は、指定量の清水で均一になるまで十分に攪拌し、使用してください。
- 中塗材は、塗りムラ・だれ・塗り残しのないよう均一に塗付けてください。
- 下地が隠ぺいしない場合は2回塗りして下さい。  
中塗が透けた状態になっていると仕上がりにムラを生じる事があります。
- 充分乾燥させて、成膜乾燥していることを確認してから次の工程に移ってください。

#### 2-2. 上塗り

##### 《ローラー・吹付共通事項》

- 上塗材は、指定量の清水で均一になるまで十分に攪拌してから使用してください。  
骨材が沈んでいる場合があります。攪拌が不足すると施工ムラが発生する可能性がありますので注意してください。
- 上塗りは、塗りムラ・だれ・塗り残しのないよう均一に塗付けてください。
- ガン・ローラーの運行は縦・横・縦1回ずつとし、ムラが出ないように塗り付けてください。
- 施工にあたっては同一方法で、入隅・出隅・目地等の見切りの良いところまで仕上げてください。同一壁面での塗り継ぎは色違いやムラが発生しやすいので注意してください。
- 入隅はカラーチップが寄らないようにダメ込みを行ってから、仕上げてください。
- 塗り継ぎ部分が厚膜にならないように塗付けてください。



- 極端に塗布量が少ない場合や、塗り残しが発生した場合、仕上がりのムラや劣化の程度に差が生じますので、ご注意ください。
- 僅かな補修面であれば、出来るだけ周囲となじませるようにして、はけで叩くように上塗材を塗布してください。
- 最終養生時間は24時間以上取って下さい。  
上塗りは塗装直後は乳白色ですが、乾燥すると透明になります。
- 複数の施工者がいる場合には、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打ち合わせを行ってください。

《ローラー塗装の場合》

- **上塗りの施工は以下ローラーを使用して施工する事を推奨致します。**  
他のローラーを使用した場合、塗料内のカラーチップが均一に広がらない可能性があります。

推奨ローラー詳細	
桃虎 毛丈21mm (株式会社タイホウ)	チャスキ 毛丈15mm (ピーアイエー株式会社)

- **ローラーネットなどを用いて、塗料材料を十分に含ませてから被塗物に塗装材料を配ってください。**塗り面に均一に塗り広げる作業を円滑に行ってください。  
ローラーに含ませた材料が吐出し終えた状態で、過度に塗り広げを行なった場合、カラーチップがよることがあります。
- デザインパネルに塗装する場合は、目地に沿って仕上げてください。

《吹付け塗装の場合》

- 施工器具は万能ガンを使用してください。
- ガンが塗装面に対し垂直になるように保ち、50cm程度の距離でエア一圧の調整を行いながら正面から塗装してください。斜めからの吹付けは塗料の片寄りや吹きムラの原因となります。

# 成分表

中塗り : パステルフレーバー 中塗り

内	容	重量 (%)
アクリルシリコン樹脂エマルジョン		45.0
白色及び体質顔料		43.1
水		3.9
添加剤		8.0
着色顔料		適宜
	計	100.0
		100.0

上塗り : パステルフレーバー 上塗り

内	容	重量 (%)
アクリルシリコン樹脂エマルジョン		62.0
水		21.5
添加剤		13.0
防藻・防カビ剤		0.5
着色骨材		3.0
	計	100.0
		100.0

上塗り : パステルフレーバー 艶消し 上塗り

内	容	重量 (%)
アクリルシリコン樹脂エマルジョン		51.6
水		26.5
艶消し材		5.6
添加剤		12.8
防藻・防カビ剤		0.4
着色骨材		3.0
	計	100.0

# 性能試験成績書

塗装仕様	遮熱・断熱・ラジカル制御型多彩模様塗料		
製品名	パステルフレーバー		
供試材料	中塗材：パステルフレーバー 中塗 上塗材：パステルフレーバー 上塗		
試験項目		結果	
容器の中の状態	JIS K 5600-1-1 に準拠 かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。	合格	
表面乾燥性	23℃	JIS K 5600-3-2に準拠 8時間以内で表面乾燥する。	合格
	5℃	16時間以内で表面乾燥する。	合格
塗膜の外観	JIS K 5600-3-4に準拠 塗膜の外観が正常であるものとする。	合格	
耐衝撃性	JIS A 1408に準拠 割れ及びはがれが生じない。	合格	
付着性(クロスカット法)	JIS K 5600-5-6に準拠 分類1又は分類0である。	合格	
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K 5600-7-7に準拠 湿潤冷熱繰返しに耐える。	合格	
促進耐候性	JIS K 5600-7-7に準拠 規定照射時間後、塗膜に、割れ、はがれ及び膨れがなく、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、さらに、白垂化の等級が1又は0である。 照射時間2500時間後の光沢保持率が80%以上である。	合格	
—以下余白—			

\* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。



# 一般的な注意事項

## 《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ALCやコンクリートなどで巣穴、段差がある場合は、下地調整塗材（JIS A 6916相当品）等で処理してください。
- 無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。
- プラスターボードへの塗装はパテかい部とそれ以外の面で吸込みの違いが生じ、色むらなど仕上がりに影響が出る恐れがあります。下塗りを塗装して均一な状態にしてください。
- ドアのゴムパッキンなど可塑剤を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

## 《環境》

- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。

- 材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない、決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠ぺい不足、仕上がリムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

## 《材 料》

- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装でムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
- つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。
- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クリヤーによる保護塗装を行ってください。
- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠ぺい性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、

雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。

- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。

また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などで塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中の成分の流出が起こる場合があります。

#### 《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

#### 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態に密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。